

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	17,491	17,349	△ 142	
正味収入保険料	11,621	11,231	△ 390	(注1)
正味回収金	2,000	39	△ 1,961	(注2)
受取利息	3,870	5,690	1,820	(注3)
その他業務収入	-	389	389	
被出資債権からの回収金	7,619	27,402	19,783	(注4)
有価証券の償還	19,737	15,000	△ 4,737	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	15,823	15,823	0	
計	60,670	75,574	14,904	
支出				
業務支出	25,347	7,029	△ 18,318	
正味支払保険金	19,544	778	△ 18,766	(注6)
人件費	1,247	1,538	291	
国庫納付金	-	-	-	
その他業務支出	4,556	4,713	157	(注7)
投資支出	1,785	869	△ 916	
システム開発等	1,715	400	△ 1,315	(注8)
その他投資支出	70	470	400	(注9)
有価証券の取得	-	34,818	34,818	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	-	166	166	
翌年度繰越金	33,538	98,913	65,375	
予算差異	-	△ 66,222	△ 66,222	
計	60,670	75,574	14,904	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を下回る保険契約高となったことから、予算額を下回りました。
- (注2) 支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 保有有価証券残高が増えたことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注4) 回収金から被保険者に配分する利息が減ったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注5) 国債の買い入れ等により、有価証券の取得の額は予算額を大幅に上回りました。一方で、有価証券の償還の額は予算額を大幅に下回りました。
- (注6) 保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図ったものの、その他業務支出は予算額を上回りました。
- (注8) システム開発案件の精査等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注9) 事務室内の内装工事案件への投資支出により、予算額を大幅に上回りました。